

参加費無料

どなたでもご参加いただけます

第26回 MaOIセミナー

令和7年度

マリンオープンイノベーション プロジェクト成果発表会

-第1部- 基調講演

内浦湾の環境モニタリングによる マアジのへい死メカニズムの解明

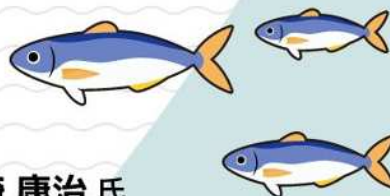
さかなたちの
大量突然死の謎に
迫ります！

登壇者

慶應義塾大学理工学部准教授 高橋 英俊 氏

株式会社 MizLinux 取締役 石川 空 氏

株式会社ウインディーネットワーク 部長 松崎 康治 氏



-第2部- 成果発表等

《Pickup》事業成果報告

環境、アプリ、食品分野での製品化事例を企業からご紹介いただきます

磐田化学工業(株)・(株)ウミゴー・(有)山精水産 (敬称略、五十音順)

ポスター展示もございます。プログラムの詳細は裏面まで⇒

12月8日月

(開場 13:30)

14:00-17:00



📍 グランシップ静岡11階 会議ホール「風」

会場定員：100名

🖥️ オンライン同時配信

申し込みは
こちらから▶

申し込み期限

12月3日(水)まで



<https://qnr.maoi-i.jp/seminar/>

主催

静岡県・一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

問い合わせ先

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構



054-340-1800



info@maoi-i.jp

マリンオープンイノベーション(MaOI)プロジェクトとは...

あしたの海洋産業を
次世代につなげる

静岡県の魅力ある海洋資源や、
持続可能な海洋経済のテクノロジー「Blue Tech」を活用し、
海洋産業の振興と海洋環境保全の
世界的拠点の形成を目指す取り組みです

静岡県沼津市

基調講演

内浦湾の環境モニタリングによるマアジのへい死メカニズムの解明

静岡県沼津市の内浦湾では近年、養殖マアジのへい死が発生しています。
本基調講演では、生け簀周辺の環境調査とともに、溶存酸素濃度や流速を含む環境モニタリングシステムを構築し、へい死メカニズムの解明を進めた研究内容をご紹介します。

事業成果報告 (敬称略)

磐田化学工業株式会社

～海洋微生物を利用した新規なメタン発酵による環境貢献型廃棄物処理システムの開発～
株式会社ウミゴ

～釣り場チェックインシステム実証事業～

有限会社山精水産

～唯一無二の味 桜えびチップスの開発～

株式会社イーグステクノロジーズ

～ドローンを活用した自動制御型採水機構システムの開発～

かど万米店

～MaOI微生物ライブラリの乳酸菌を活用した自然薯食品の商品開発～

ニチフリ食品株式会社

～ふりかけテックで新たな未利用魚節原料の開発!～

プロキシマー株式会社

～本邦初の閉鎖型陸上養殖で生産するアトランティックサーモンの未利用部位の有効活用に向けた基礎的調査～

慶応義塾大学医学部

～低酸素応答制御機能を持つ静岡県産魚類由来成分の探索と疾患制御に関する研究～

※事業成果報告企業のポスターも展示します

ポスター展示 (敬称略)

プログラム

13:30～	開場
14:00～14:10	開会挨拶 静岡県経済産業部長代理、MaOI機構代表理事
14:10～15:00	基調講演
15:00～15:15	休憩
15:15～15:20	BLUE ECONOMY EXPO @Suruga Bay開催報告
15:20～16:05	事業成果報告
16:05～16:15	研究成果報告
16:15～16:20	駿河湾海洋DX先端拠点化計画 について
16:20～16:30	閉会挨拶 MaOI機構統括プロデューサー
16:30～	意見交換会
17:00	終了

会場・アクセス

グランシップ静岡 11階ホール「風」
静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

<JRでお越しの方>

JR東静岡駅南口より徒歩3分

<新幹線でお越しの方>

JR静岡駅下車 ➡ 乗換え ➡

JR東海道線 上り (熱海・沼津方面行)
1駅 東静岡駅下車

<お車で越しの方>

東名高速道路 静岡ICから6キロ

日本平久能山スマートICから4キロ

静清バイパス 千代田上土ICから4キロ

- ・お車でご来場の場合はグランシップ駐車場をご利用ください。駐車券をお渡しします。
- ・オンラインで参加される方の通信料はご自身での負担となります。
- ・講演、発表の録音、スクリーンショットなどはお断りします。
- ・オンライン参加者には、開催日の前日までに配信アドレスをお送りします。